

2019 年度
法政大学大学院
政策創造研究科

入学試験要項

修士課程・博士後期課程

目 次

1	受験生の皆さんへ	2
2	入学試験について	2
3	出願までのフローチャート	3
4	募集人員	5
5	入学試験に関する各種日程	5
6	指導教員とプログラムについて	6
7	個人情報の取り扱いについて	6
8	修士課程入試要項	7
9	博士後期課程入試要項	11
10	個別の入学資格審査について	14
11	検定料・学費・奨学金等について	16
12	コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法	19
13	お問い合わせ先	20

提出書類の様式 1～5

1 受験生の皆さんへ

法政大学大学院政策創造研究科は、2008年4月からスタートした大学院です。本研究科では、学部組織を持たない独立大学院ならではの多様かつ柔軟なカリキュラムのもと、修士課程と博士後期課程の2つの課程を同時に開設しています。本研究科には次のような特徴があります。

■政策づくり、地域(都市)づくり、産業創出を担う高度専門職業人の育成を目指しています。

- ・3分野(経済・社会・雇用創造群、文化・都市・観光創造群、地域産業・企業創造群)にわたる9つのプログラム(経済・社会プログラム、雇用・人材育成・キャリアプログラム、地域社会・介護福祉プログラム、都市空間・まちづくりプログラム、都市文化プログラム、観光メディアプログラム、地域産業・行動経済プログラム、中小企業経営革新プログラム、CSR・消費者志向経営プログラム)の中から総合的、具体的に学ぶことにより、課題解決のための創造的な発想が得られ、政策センス、政策スキル、グローバルに広がる知識、そして政策創造力が磨かれることとなります。
- ・自治体や官庁と協力した実習プログラム(フィールドワーク)に参加することで、政策立案、政策実施の現場感覚が涵養できます。
- ・現在働いている方々にとって、仕事と学業との両立ができるように交通至便な都心の市ヶ谷キャンパスで平日夜間と土曜日に授業を開講します。入学時には長期履修制度の選択も可能です。
- ・政策の現場に精通した教員により、修了まで親身なガイダンスや指導が受けられます。

さあ、皆さんも政策創造のフロンティアと一緒に挑んでみませんか。奮ってのご応募をお待ちしています。

2 入学試験について

法政大学大学院政策創造研究科は、受験生が無理なく入学試験を受けることができるように1年間に複数回の受験機会を用意しています。試験方法は大きく次の2つに分かれます。入試を受ける場合は、一般入試・社会人A0入試どちらも出願前に研究科ディレクター等との面談が済んでいる事が前提となります。出願の流れについては次頁からのフローチャートをご参照ください。

<社会人A0入試>

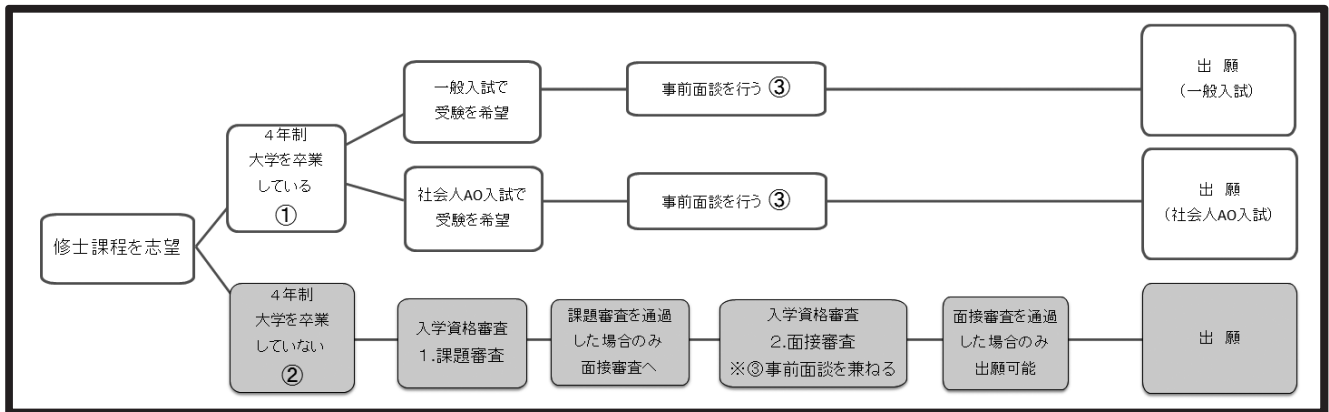
社会人経験3年以上の方を対象とした入学試験です。研究計画書や職務・活動等報告書等の書類審査および面接試験の結果を総合的に判断(博士後期課程においては受験論文も重視)し合否を判定します。

<一般入試>

日本国内外の大学の在学学生や卒業生で社会人経験が3年未満の方を対象とした入学試験です。学業成績や研究計画書等の書類審査および面接試験の結果を総合的に判断(博士後期課程においては受験論文も重視)し合否を判定します。修士課程のみ、面接試験当日に筆記試験を課します。

3 出願までのフローチャート

■修士課程



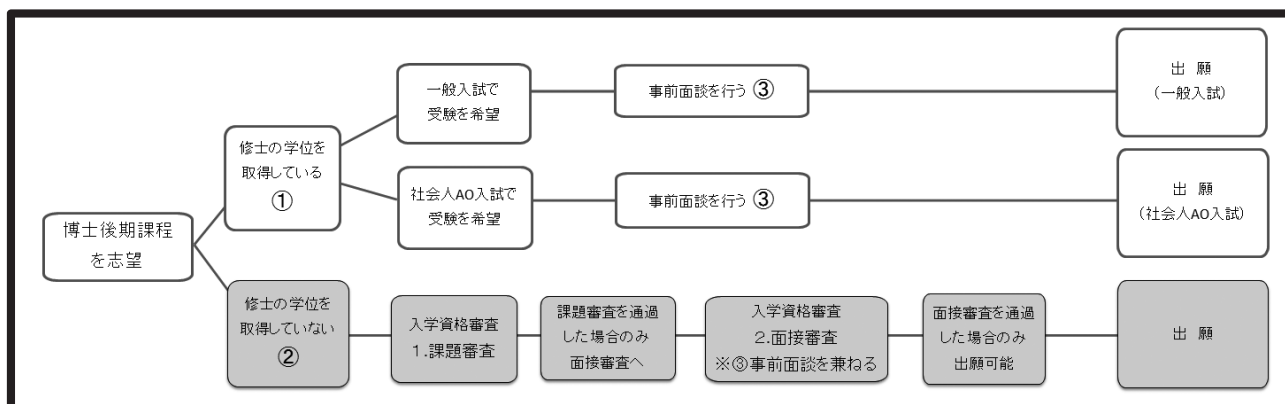
■フローチャートの解説

①4年制大学を卒業している場合、受験資格（社会人経験の年数および年齢）により一般入試か社会人AO入試を受験することができます。

②4年制大学を卒業していない場合、入学資格審査を受ける必要があります。入学資格審査では、課題審査と面接審査を行います。課題審査では研究業績等の専門(研究テーマ)に関するレポート（8,000字以上）を提出していただき研究科にて審査します。「入学資格審査申請書」等と一緒に課題審査のレポートを期日までにご提出ください。課題審査の結果を後日、ご連絡します。課題審査を通過した場合は、事前面談を兼ねた面接審査を行います。指定の日時・場所にて面接を受けてください。面接審査の結果についても後日、ご連絡します。面接審査を通過した場合は、修士課程に出願することができます。（詳細についてはp.14-15を参照。）

③当研究科教員（研究科ディレクター等）との事前面談を行います。事前面談を行った方のみ修士課程に出願することができます。事前面談実施期限については、p.5を参照してください。

■博士後期課程



■フローチャートの解説

- ①修士の学位を取得している場合は、受験資格（社会人経験年数）により一般入試か社会人AO入試を受験することができます。
- ②修士の学位を取得していない場合、入学資格審査を受ける必要があります。入学資格審査では、課題審査と面接審査を行います。課題審査では修士論文に相当する業績を示す論文（公刊されたもの・新たに作成したもののどちらでも可）あるいは著書を提出していただき研究科にて審査します。
「入学資格審査申請書」等と一緒に課題審査の論文あるいは著書を期日までにご提出ください。課題審査の結果を後日、ご連絡します。課題審査を通過した場合は、事前面談を兼ねた面接審査を行います。指定の日時・場所にて面接を受けてください。面接審査の結果についても後日、ご連絡します。面接審査を通過した場合は、博士後期課程に出願することができます。（詳細についてはp.14-15を参照。）
- ③p.6に記載の博士後期課程の研究指導教員のうち、研究指導を希望する教員との事前面談を行います。事前面談を行った方のみ博士後期課程に出願することができます。事前面談実施期限については、p.5を参照してください。

4 募集人員

研究科名	専攻名	修士課程	博士後期課程
政策創造研究科	政策創造専攻	社会人 AO 入試 一般入試	10 名程度
} 50 名程度			

5 入学試験に関する各種日程

■ 入学試験に関する各種日程（修士課程および博士後期課程、一般・社会人 AO 入試共通）

※提出書類は郵送のみ受け付けます。窓口への持参は認められませんので、時間に余裕を持って準備してください。

入試実施回	入学資格審査 申請期限 <該当者のみ>	事前面談実施期限	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
注意点	書類提出期限は 締切日 消印有効 です。	実施期限より前に 大学院課政策創造研 究科担当へ連絡を し、面談の日程調整 をしてください。	出願書類は 締切日 消印有効 です。	受験票 持参のこと	Web 上で 発表します。 合格者には入 学手続書類を 送付します。	入学手続書類は 締切日 消印有効 です。
第 1 回	7 月 13 日 (金)	7 月 28 日 (土)	7 月 30 日 (月) ～8 月 4 日 (土)	8 月 25 日 (土)	8 月 29 日 (水)	8 月 29 日 (水) ～9 月 4 日 (火)
第 2 回	9 月 28 日 (金)	10 月 20 日 (土)	10 月 22 日 (月) ～10 月 27 日 (土)	11 月 11 日 (日)	11 月 14 日 (水)	11 月 14 日 (水) ～11 月 20 日 (火)
第 3 回	11 月 23 日 (金)	12 月 14 日 (金)	12 月 17 日 (月) ～12 月 22 日 (土)	1 月 26 日 (土)	1 月 30 日 (水)	1 月 30 日 (水) ～2 月 5 日 (火)
第 4 回	12 月 21 日 (金)	1 月 25 日 (金)	1 月 28 日 (月) ～2 月 2 日 (土)	2 月 23 日 (土)	2 月 27 日 (水)	2 月 27 日 (水) ～3 月 5 日 (火)

<海外在住の外国人受験生への注意>

海外在住の外国人受験生は、第 1 回～第 3 回入学試験を受験してください。

第 4 回入学試験を受験した場合、入学手続後から入学までの期間が短く、在留資格「留学」を 4 月入学前に取得し渡日することが困難です。

渡日が遅れると留学生用の奨学金や授業料減免の申請が出来ないなど、様々な不利益があります。

日本に在留している外国人受験生は、第 4 回入学試験への出願が可能です。

6 指導教員とプログラムについて

■ 修士課程

指導教員を選択することにより、所属する創造群およびプログラムが決定されます。所属する創造群によりカリキュラムが異なります。カリキュラムについては、研究科パンフレットを参照してください。所属創造群・プログラム・指導教員の組み合わせは以下の通りとなります。

出願書類の様式2「入学志願票」等には、希望する指導教員名を記入してください。

所属創造群	プログラム名称	指導教員
経済・社会・雇用 創造群	経済・社会プログラム	梅溪 健児 教授
	雇用・人材育成・キャリアプログラム	石山 恒貴 教授
	地域社会・介護福祉プログラム	高尾 真紀子 教授
文化・都市・観光 創造群	都市空間・まちづくりプログラム	上山 肇 教授
	都市文化プログラム	増淵 敏之 教授
	観光メディアプログラム	(未定)
地域産業・企業 創造群	地域産業・行動経済プログラム	真壁 昭夫 教授
	中小企業経営革新プログラム	井上 善海 教授
	C S R・消費者志向経営プログラム	樋口 一清 教授 (※)

(※)「C S R・消費者志向経営プログラム」の指導教員については、変更の可能性があります。

■ 博士後期課程

博士後期課程の研究指導教員は、以下の予定です。

石山 恒貴 教授、上山 肇 教授、増淵 敏之 教授、
梅溪 健児 教授、真壁 昭夫 教授、井上 善海 教授

修了年限等の関係で受入れることができない場合がありますので、大学院課政策創造研究科担当を通じて各研究指導教員にご相談ください。

7 個人情報の取り扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、「入学試験実施（志願者データ作成含む）」「合格発表」「入学手続」に関連する業務を行うために利用します。上記の業務は、その一部を法政大学が当該業務を委託した業者（受託業者）により行われる場合があります。個人情報は、受託業者に対しても適正な管理を行うようにいたしますので、あらかじめご了承ください。個人情報の管理等については、「法政大学個人情報保護規程」に基づき適切に取り扱います。

8 修士課程入試要項

【1】事前面談

修士課程に出願する方は全員、本研究科ディレクター等との事前面談を受けていただきます。
面談日程を調整するため、**事前面談実施期限よりも前に**余裕を持って下記のホームページを通じて
大学院課政策創造研究科担当に事前面談の申請を行ってください。

【修士課程入学希望者事前面談申込ホームページ】

http://www.hosei.ac.jp/gs/kenkyuka/seisakusozo/m_jizenmendan.html

事前面談実施期限までに面談を受けていない場合、直近で実施される試験を受けることはできません。
また、年度内最後の試験に間に合わない場合には、次年度以降改めて事前面談から入試を受けていただきます。
事前面談には日程調整が必要ですので、できる限り早い段階でご連絡ください。

出願書類を基に事前面談を行うため、事前面談日までに書類を全てご用意いただき、当日ご持参
ください。書類は事前面談後お返ししますので、出願期間に再度郵送にてご提出ください。なお、
事前面談の時点では検定料の振込を行わないでください。検定料の振込は出願期間にお願いします。

【2】受験資格

区分	一般入試	社会人 A0 入試
条件	以下 1～9 のいずれかに該当する者。日本国以外の国籍を有する者（外国人留学生）は前述に加え「日本語能力試験 N1」を取得している者、もしくは日本における日本語による学士以上の課程を修了した者（2019 年 3 月卒業見込みの者含む）。	以下 1～9 のいずれかに該当し、2019 年 4 月 1 日現在で、社会人経験 3 年以上を有し、25 歳以上に達した者。日本国以外の国籍を有する者（外国人留学生）は前述に加え「日本語能力試験 N1」を取得している者、もしくは日本における日本語による学士以上の課程を修了した者。
1	大学を卒業した者、又は 2019 年 3 月末までに大学卒業見込みの者（※1）	
2	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は 2019 年 3 月末までに同機構より学士の学位を授与される見込みの者（※2）	
3	外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、又は 2019 年 3 月末までに修了見込みの者（※3）	
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、又は 2019 年 3 月末までに修了見込みの者（※4）	
5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は 2019 年 3 月末までに修了見込みの者（※5）	
6	外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は 2019 年 3 月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者（※6）	
7	専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（2019 年 3 月末までに修了見込みの者も含む）（※7）	
8	文部科学大臣の指定した者（※8）	
9	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者（※9）	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（※9）

- ※1 「大学」とは日本国内の大学を指します。
- ※2 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1か月前までに大学院課政策創造研究科担当へお問い合わせください。
- ※3 学士学位を取得（2019年3月末までに取得見込みを含む）していない場合は該当しません。
- ※4 学士学位を取得（2019年3月末までに取得見込みを含む）していない場合は該当しません。
- ※5 文部科学大臣指定外国大学日本校を指します。対象となる学校は、文部科学省ホームページを参照してください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/001.htm
- ※6 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1か月前までに大学院課政策創造研究科担当へお問い合わせください。
 - ・学士の学位に相当する学位を授与されていない場合は該当しません。たとえば中国の3年制大学（専科大学・職業学院等）のみ卒業し学士学位を取得していない場合は該当しません。
 - ・「その他の外国の学校」とはその教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの、又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限りです。
 - ・「修業年限が3年以上である課程を修了する」方法には、当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること、及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。
- ※7 対象となる専修学校の専門課程については、文部科学省ホームページを参照してください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm
- ※8 この資格により受験希望の場合は、出願締切日1か月前までに大学院課政策創造研究科担当へお問い合わせください。
- ※9 詳細はp.14「10 個別の入学資格審査について」を参照してください。
なお、22歳に達した者とは入学時（2019年4月）の年齢を指します。

【注意】

ダブルディグリープログラムにより学位を取得した方（見込みを含む）

ダブルディグリープログラムにより学位を取得した（見込みを含む）場合、「複数の大学あるいは複数の学部（専攻）を卒業している場合（見込みを含む）」に該当しますので、卒業したすべての大学・学部（専攻）を出願書類の学歴欄に記入し、それぞれの「成績証明書」「卒業証明書」「学士学位取得証明書（外国の大学卒業の場合のみ）」を提出してください。

【3】 試験内容

区分	一般入試	社会人 A0 入試
試験	1. 筆記試験 2. 書類審査 3. 面接試験	1. 書類審査 2. 面接試験

【4】 試験会場

市ヶ谷キャンパス

【5】 出願手続

1. 出願書類は黒サインペンまたはボールペン等（消せるボールペン不可）、消しゴムで消せないものを使用し楷書にて記入してください。
2. 入学検定料 35,000 円は出願期間内に別紙（様式1）「A 振込依頼書・B 振込金受領書・C 受験票送付用住所・受験票」を用いて金融機関窓口にて納入してください。その際、窓口で必ず出納印を押してもらってください（3ヶ所）。

なお、B 振込金受領書をもって領収書とさせていただきますので、B 振込金受領書は郵送せず、ご自身で保管してください。また、コンビニエンスストアおよびクレジットカードで入学検定料を納入する場合は、p. 19 をご参照ください。

※一旦納入された検定料は、事情の如何にかかわらず返還できませんのでご注意ください。

3. 提出書類を所定の封筒により、出願期間内に大学院課政策創造研究科担当まで簡易書留にて郵送してください。

※提出された書類は返却できませんのでご注意ください。

4. 出願は締切日消印有効とします（厳守）。出願締切日、もしくはその前日の消印となる場合は、速達簡易書留にて郵送してください。
5. 出願書類を受理し、処理が完了した段階で受験票を速達にて発送します。合わせて試験日当日の集合時間・場所をお知らせしますので必ずご確認ください。

試験日の3日前になっても受験票が届かない場合は大学院課政策創造研究科担当までご連絡ください。

6. 受験資格について確認が必要な場合は、必ず出願期間開始前に大学院課政策創造研究科担当までお問い合わせください。
7. 身体に障がいがあり、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間開始前に大学院課政策創造研究科担当までご相談ください。
8. 出願書類は次表の通りです。

なお、卒業した学校の都合により卒業証明書や成績証明書の再発行が不可能な証明書等の原本については、事前に大学院課政策創造研究科担当へ連絡の上、証明書のコピーとそのコピーが正しいことの公証書を提出することで原本に代えることができます。また、保管期限により証明書が発行されない場合には、卒業した学校に発行不可の証明書を発行してもらい、提出してください。加えて、新たに証明書の発行が不可能であり、返送を希望する場合は、その旨を記載したメモと、返信先住所・氏名を明記した返送用封筒に郵送料分の切手を貼り付け同封してください。

出願書類	様式	提出	注意事項
1. 受験票	様式 1	必要	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関での振込の場合は納印、コンビニでの振込の場合は収納証明書の貼付が必要です。
2. 入学志願票	様式 2	必要	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3.5cm)を貼付してください。 写真裏面に氏名を記載のうえ貼付してください。
3. 卒業(見込)証明書 (厳封不要)		日本の大学 卒業(見込) の方のみ	<ul style="list-style-type: none"> 証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)1通を添付してください。
4. 成績証明書 (厳封不要)		必要	<ul style="list-style-type: none"> 卒業証明と成績証明を一つの書式で満たす証明書がある場合は、該当証明書1通の提出で結構です。 GPAを表す証明書がある場合はこれを提出してください。 編入学・学士入学経験者はそれぞれの学校の成績証明書1通を提出してください。 証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)1通を添付してください。 外国の大学(大学院)を卒業(修了)した方は、英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を併せて提出してください。
5. 学士学位取得(見込) 証明書 (厳封不要)		外国の大学 卒業(見込) の方のみ	<ul style="list-style-type: none"> 英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を併せて提出してください。
6. 研究計画書	様式 3	必要	<ul style="list-style-type: none"> 2,000字程度で研究テーマ、研究目的、研究計画を詳しく記入してください。2,000字を大きく下回る場合は審査・面談できません。
7. 履歴書	様式 4	必要	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3.5cm)を貼付してください。 写真裏面に氏名を記載のうえ貼付してください。
8. 職務・活動等報告書	様式 5	社会人 A0 入試志願者のみ	<ul style="list-style-type: none"> 職務経験や社会的活動の経験について記入してください。
9. 日本語能力を証明する 書類		外国人志願者 のみ	<ul style="list-style-type: none"> 「日本語能力試験 N1」取得を証明する書類(コピー可)を提出してください。なお、日本における日本語による学士以上の課程を修了した者(2019年3月卒業見込みの者含む)は提出不要です。
10. 住民票 (市区役所・町村役場発行 のもの)		外国人志願者 のみ	<ul style="list-style-type: none"> 「<u>在留資格</u>」と「<u>在留期間</u>」が記載され、<u>個人番号(マイナンバー)</u>が記載されていないものを提出してください。 日本に住所登録がない場合(短期滞在ビザでの入国等)はパスポートの写し(写真および旅券番号がわかるページとビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ)を代わりに提出してください。
11. 個別の入学資格審査 結果について(通知)の コピー		個別の入学資格 審査合格者のみ	<ul style="list-style-type: none"> 「出願資格を有する」と表記されている面接審査通過時の通知文書のコピーを提出してください。

9 博士後期課程入試要項

【1】事前面談

博士後期課程に出願する方は全員、希望される指導教員等との事前面談を受けていただきます。
面談日程を調整するため、**事前面談実施期限よりも前に**余裕を持って下記のホームページを通じて
大学院課政策創造研究科担当に事前面談の申請を行ってください。

【博士後期課程入学希望者事前面談申込ホームページ】

http://www.hosei.ac.jp/gs/kenkyuka/seisakusozo/d_jizenmendan.html

事前面談実施期限までに面談を受けていない場合、直近で実施される試験を受けることはできません。
また、年度内最後の試験に間に合わない場合には、次年度以降改めて事前面談から入試を受けていただきます。
事前面談には日程調整が必要ですので、できる限り早い段階でご連絡ください。

出願書類を基に事前面談を行うため、事前面談日までに出願書類を全てご用意いただき、当日ご持参
ください。出願書類は事前面談後お返ししますので、出願期間に再度郵送にてご提出ください。なお、
事前面談の時点では検定料の振込を行わないでください。検定料の振込は出願期間にお願いします。

【2】受験資格

区分	一般入試	社会人 AO 入試
条件	以下 1~6 のいずれかに該当する者。	全ての受験資格において、2019 年 4 月 1 日現在で、社会人経験 3 年以上を有し 27 歳に達した者で、以下 1~6 のいずれかに該当する者。
1	修士の学位又は専門職学位を有する者、又は 2019 年 3 月末までに学位を授与される見込みの者	
2	外国における大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者、又は 2019 年 3 月末までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得る見込みの者	
3	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得た者、又は 2019 年 3 月末までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を得る見込みの者（※1）	
4	文部科学大臣の指定した者（※2）	
5	本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者（※3）	本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（※3）
6	国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（※4）	

※1・※2・※4 この資格で受験希望の場合、出願締切日 1 か月前までに大学院課政策創造研究科担当にて受験資格を確認してください。

※3 詳細は p.14 「10 個別の入学資格審査について」を参照してください。

なお、24 歳に達した者とは入学時（2019 年 4 月）の年齢を指します。

【注意】

ダブルディグリープログラムにより学位を取得した方（見込みを含む）

ダブルディグリープログラムにより学位を取得した（見込みを含む）場合、「複数の大学あるいは複数の研究科（専攻）を修了している場合（見込みを含む）」に該当しますので、修了したすべての大学・研究科（専攻）を出願書類の学歴欄に記入し、それぞれの「成績証明書」「修了証明書」「修士学位取得証明書（外国の大学修了の場合のみ）」を提出してください。

【3】試験内容（一般入試・社会人 A0 入試共通）

1. 書類審査
2. 面接試験

【4】試験会場

市ヶ谷キャンパス

【5】出願手続

1. 出願書類は黒サインペンまたはボールペン等（消せるボールペン不可）、消しゴムで消せないものを使用し楷書にて記入してください。
2. 入学検定料 35,000 円は出願期間内に別紙（様式 1）「A 振込依頼書・B 振込金受領書・C 受験票送付用住所・受験票」を用いて金融機関窓口にて納入してください。その際、窓口で必ず出納印を押してもらってください（3ヶ所）。

なお、B 振込金受領書をもって領収書とさせていただきますので、B 振込金受領書は郵送せず、ご自身で保管してください。また、コンビニエンスストアおよびクレジットカードで入学検定料を納入する場合は、p. 19 をご参照ください。

※一旦納入された検定料は、事情の如何にかかわらず返還できませんのでご注意ください。

3. 提出書類を所定の封筒により、出願期間内に大学院課政策創造研究科担当まで簡易書留にて郵送してください。

※提出された書類は返却できませんのでご注意ください。

4. 出願は締切日消印有効とします（厳守）。出願締切日、もしくはその前日の消印となる場合は、速達簡易書留にて郵送してください。
5. 出願書類を受理し、処理が完了した段階で受験票を速達にて発送します。合わせて試験日当日の集合時間・場所をお知らせしますので必ずご確認ください。

試験日の 3 日前になっても受験票が届かない場合は大学院課政策創造研究科担当までご連絡ください。

6. 受験資格について確認が必要な場合は、必ず出願期間開始前に大学院課政策創造研究科担当までお問い合わせください。
7. 身体に障がいがあり、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願期間開始前に大学院課政策創造研究科担当までご相談ください。
8. 出願書類は次表の通りです。

なお、卒業した学校の都合により卒業証明書や成績証明書の再発行が不可能な証明書等の原本については、事前に大学院課政策創造研究科担当へ連絡の上、証明書のコピーとそのコピーが正しいことの公証書を提出することで原本に代えることができます。また、保管期限により証明書が発行されない場合には、卒業した学校に発行不可の証明書を発行してもらい、提出してください。加えて、新たに証明書の発行が不可能であり、返送を希望する場合は、その旨を記載したメモと、返信先住所・氏名を明記した返送用封筒に郵送料分の切手を貼り付け同封してください。

出願書類	様式	提出	注意事項
1. 受験票	様式 1	必要	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関での振込の場合は出納印、コンビニでの振込の場合は収納証明書の貼付が必要です。
2. 入学志願票	様式 2	必要	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3.5cm)を貼付してください。 写真裏面に氏名を記載のうえ貼付してください。
3. 修了(見込)証明書 (厳封不要)		必要	<ul style="list-style-type: none"> 証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)1通を添付してください。 外国の大学(大学院)を卒業(修了)した方は、英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を併せて提出してください。
4. 成績証明書 (厳封不要)		必要	<ul style="list-style-type: none"> 修了証明と成績証明を一つの書式で満たす証明書がある場合は、該当証明書1通の提出で結構です。 GPAを表す証明書がある場合はこれを提出してください。 証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの(戸籍抄本等)1通を添付してください。 外国の大学(大学院)を卒業(修了)した方は、英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を併せて提出してください。
5. 修士学位取得(見込)証明書 (厳封不要)		外国の大学で 修士課程修了 (見込) の方のみ	<ul style="list-style-type: none"> 英語または日本語の証明書を提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関にて、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文と公証書を併せて提出してください。なお、修了(見込)証明書に取得学位が記載されている方は提出不要です。
6. 受験論文		必要	<ul style="list-style-type: none"> 論文(修士論文や研究論文等)および論文要旨それぞれ3部提出してください。 論文要旨は2,000字以内で論文とは別に提出してください。 提出された論文は返却できません。原本を手元に残しておきたい場合や原本は出身大学にしかない等の場合にはコピーを提出してください。
7. 研究計画書	様式 3	必要	<ul style="list-style-type: none"> 2,000字程度で研究テーマ、研究目的、研究計画を詳しく記入してください。2,000字を大きく下回る場合は審査・面談できません。
8. 履歴書	様式 4	必要	<ul style="list-style-type: none"> 3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3.5cm)を貼付してください。 写真裏面に氏名を記載のうえ貼付してください。
9. 職務・活動等報告書	様式 5	社会人 A0 入試志願者 のみ	<ul style="list-style-type: none"> 職務経験や社会的活動の経験について記入してください。
10. 研究論文・作品等		任意 ※提出する場合は3部	<ul style="list-style-type: none"> 研究テーマに関する内容のものであれば、形式は自由です。 指定封筒に入らない大きさのものについては予め大学院課政策創造研究科担当宛に連絡の上、別途ご郵送ください。
11. 住民票 (市区役所・町村役場発行のもの)		外国人志願者 のみ	<ul style="list-style-type: none"> 「在留資格」と「在留期間」が記載され、個人番号(マイナンバー)が記載されていないものを提出してください。 日本に住所登録がない場合(短期滞在ビザでの入国等)はパスポートの写し(写真および旅券番号がわかるページとビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ)を代わりに提出してください。
12. 個別の入学資格審査結果について(通知)のコピー		個別の入学資格 審査合格者のみ	<ul style="list-style-type: none"> 「出願資格を有する」と表記されている面接審査通過時の通知文書のコピーを提出してください。

10 個別の入学資格審査について

修士課程の受験資格区分「9」、博士後期課程の受験資格区分「5」に該当する方は、以下の通り入学資格審査を行います。

入学資格審査において、課題審査を通過した方は事前面談を兼ねた面接審査を受けていただき、面接審査を通過した方のみ出願することができます。

面接審査希望日を教員と調整するため、提出書類についてはできる限り早く郵送されることをお勧めします。所定の期日（p.5 参照）までに審査を受けられない場合は、直近で実施される試験を受けることはできません。また、年度内最後の試験に間に合わない場合には、次年度、再度入学資格審査から受けていただくこととなります。

入試出願書類に入学資格審査と同様の証明書の提出を求めているものがあります。代用はできませんので、入試出願時も同様の証明書を再度ご用意いただき出願してください。

提出書類の内、卒業した学校の都合により卒業証明書や成績証明書について再発行が不可能な証明書等の原本については、事前に大学院課政策創造研究科担当へ連絡の上、証明書のコピーとそのコピーが正しいことの公証書を提出することで原本に代えることができます。また、保管期限により証明書が発行されない場合には、卒業した学校に発行不可の証明書を発行してもらい、提出してください。加えて、新たに証明書の発行が不可能であり、返送を希望する場合は、その旨を記載したメモと、返信先住所・氏名を明記した返送用封筒に郵送料分の切手を貼り付け、同封してください。

【1】審査方法（修士課程・博士後期課程共通）

1. 課題審査
2. 面接審査

提出書類については次ページ参照。

【2】提出書類

下記項目より提出が必要なものを、p.5記載の提出期限までに郵送してください。

出願書類	提出	備考
1. 最終学歴の出身学校の卒業証明書	必要	・証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの（戸籍抄本等）を添付してください。
2. 成績証明書	必要	・証明書の氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明するもの（戸籍抄本等）を添付してください。
3. 入学資格審査申請書	必要	・申請書は下記 URL より政策創造研究科の「入学資格審査申請書」を印刷してご利用ください。 ■修士課程用 http://www.hosei.ac.jp/gs/nyushi/yoko/shushi_yoko/index.html ■博士後期課程用 http://www.hosei.ac.jp/gs/nyushi/yoko/hakase_yoko/index.html
4. 研究計画書の下書き	必要	・2,000 字程度で研究テーマ、研究目的、研究計画を詳しく記入してください。書式は自由です。 ・2,000 字を大きく下回る場合は審査・面接できません。
5. 語学能力を証明する書類	修士課程出願予定の外国人留学生のみ	・「日本語能力試験 N1」取得を証明する書類（コピー可）を提出してください。
6. 研究業績等の専門（研究テーマ）に関するレポート（8,000 字以上）	修士課程出願予定の方のみ	・書式は自由です。 ・8,000 字に満たない場合は、審査の対象となりません。面接も行いません。
7. 修士論文に相当する業績を示す論文（公刊されたもの・新たに作成したものどちらでも可）あるいは著書	博士後期課程出願予定の方のみ	・いずれも、日本語もしくは英語で執筆したもの。
8. その他	大学から提出を求められた者のみ	

【3】書類提出先

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-3-9

法政大学大学院事務部大学院課 政策創造研究科担当

【4】面接審査

課題審査を通過した方は、事前面談を兼ねた面接審査を受けていただきます。面接審査日について、課題審査を通過した方のみ後日通知します。

【5】審査結果

入学資格審査の結果は、後日郵送します。事前面談を兼ねた面接審査を受けた後の入学資格審査結果通知に「出願資格有り」と記載のある場合に限り、当該年度内の出願が可能となります。

11 検定料・学費・奨学金等について

■検定料

出願時に検定料として 35,000 円が必要です。

■学費

学費は下表の通りです。

(1) 修士課程

		1年次		2年次		合計
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	
入学金	自校(※1)	135,000円	-	-	-	
	他校(※2)	270,000円				
授業料		375,000円	375,000円	375,000円	375,000円	
教育充実費		67,500円	67,500円	67,500円	67,500円	
合計	自校(※1)	577,500円	442,500円	442,500円	442,500円	1,905,000円
	他校(※2)	712,500円				2,040,000円

(2) 博士後期課程

		1年次		2年次		3年次		合計
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
入学金	自校(※1)	-	-	-	-	-	-	
	他校(※2)	270,000円						
授業料		375,000円	375,000円	375,000円	375,000円	375,000円	375,000円	
教育充実費		67,500円	67,500円	67,500円	67,500円	67,500円	67,500円	
合計	自校(※1)	442,500円	442,500円	442,500円	442,500円	442,500円	442,500円	2,655,000円
	他校(※2)	712,500円						2,925,000円

※1：「自校」は、本学の学部卒業生、または大学院修了者を指す。

※2：「他校」は※1以外の者を指す。

学費は春学期（4月末）・秋学期（9月末）の2回に分けて納入していただくことになります。

ただし1年次（初年度）については、入学手続き時に入学金・授業料（春学期）・教育充実費（春学期）の合計金額を一括納入していただきます。残りの授業料（秋学期）・教育充実費（秋学期）については9月末までの納入となります。

■入学手続き後の学費等の返還

本学への入学手続きを完了した後に（入学時納入金を全額納入した後に）、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2019年3月31日（日）までに大学が定める手続きにより届出をした者には、入学金を除く学費（授業料・教育充実費）を返還します。入学手続き等詳細は合格者に交付される「入学手続き書類」を参照してください。

■長期履修制度（修士課程）

本研究科の長期履修制度を活用した場合、通常の修了年限（2年）に必要な授業料を3年または4年にかけて分納することが可能です。仕事と両立しながら学業にじっくりと取り組みたい社会人にとって年度あたりの授業料負担を軽減させることができる制度です。

	授業料（年間）	授業料（半期） ＝分納時の金額	分納回数
長期履修制度 （4年選択）	375,000円	187,500円	8回
長期履修制度 （3年選択）	500,000円	250,000円	6回
通常履修（2年）	750,000円	375,000円	4回

※長期履修制度を用いた履修期間は入学手続き時に選択・確定します。

入学手続き後の申請はできません。

※入学金・教育充実費の長期履修制度による分納はできません。

※教育充実費は3年目以降においても発生します。ただし金額は通常金額の1/2の額となります。

※長期履修制度を選択した者が予定の履修期間を短縮して修了することになった場合、通常履修時2年分の授業料との差額を一括で納める必要があります。

■奨学金

以下の奨学金制度が活用できます。

法政大学100周年記念大学院修士課程奨学金【給付】

修士課程在籍の大学院生への修学支援として、経済的支援を行うことを目的としています。応募資格を有する申請者の中から選考の上、200,000円が支給されます。

法政大学大学院博士後期課程研究助成金【給付】

博士後期課程在籍の大学院生への修学支援として、学術活動を奨励し高度な研究能力と豊かな学識を有する若手研究者を育成するため、経済的な支援を行うことを目的としています。本助成金は、原則として応募資格を有する申請者全員に300,000円給付されます。

地方公共団体・民間団体奨学金

各種団体が随時奨学生を募集しています。条件については各団体により異なります。

日本学生支援機構奨学金【貸与】

日本学生支援機構の奨学金は貸与型です。返還の義務がありますので、奨学金を希望する学生は、将来の返済を念頭において出願してください。出願受付は4月中旬に行います。

出願資格	修士・博士後期課程の在学学生 ただし、下記の者は資格外です (1) 標準修業年限を超えた在学学生 (2) 収入基準額を超える者 (3) 大学院での研究に支障のあるような定職または週 21 時間以上のアルバイトに従事する者および勤務先から派遣されて在学する者。	
種類	第一種奨学金：無利子 第二種奨学金：年 3% を上限とする変動金利（在学中は無利息）	
貸与月額	第一種奨学金	修士課程 50,000 円・88,000 円から選択（2018 年度） 博士後期課程 80,000 円・122,000 円から選択（2018 年度）
	第二種奨学金	50,000 円・80,000 円・100,000 円・130,000 円・150,000 円から選択

条件は変更となる場合があります。

■厚生労働省教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付）

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。

(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/kyouiku/>)

本研究科（修士課程のみ（ただし、長期履修制度選択者は除く））は、「専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」に指定されています。対象者は、2年間で本研究科修士課程を修了すると、**最大 112 万円**の給付を受けることができます。対象者の条件等、詳しくは最寄りのハローワークにお尋ねください。申請は、キャリアコンサルタントとコンサルティングを実施してジョブカードの交付を受ける、または「専門実践教育訓練の受講に関する事業主の証明書」を入手の上、受講開始 1ヶ月前（2019年2月28日（木））までにハローワークにて行う必要が有りますので、ご注意ください。

申請に当たっては、下記の情報が必要です。

1. 教育訓練施設名：法政大学大学院
2. 教育訓練講座名：政策創造研究科政策創造専攻
3. 指定番号：48098-171001-0
4. 受講開始予定年月日：2019年4月1日
5. 受講修了予定年月日：2021年3月24日

■国の教育ローン

日本政策金融公庫が取り扱う融資制度で、銀行よりも低い金利で融資が受けられます。契約は家計支持者と日本政策金融公庫との間で行われます。受験前から申し込むことも可能ですが、混雑時には通常よりも審査に日数を要する場合があります。お早めに日本政策金融公庫に直接お問い合わせください。

<日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター>

URL: <http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

ナビダイヤル: 0570-008-656、Tel: 03-5321-8656

受付時間:

月～金曜日 9:00～21:00、

土曜日 9:00～17:00

※日曜日、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）はご利用頂けません。

■その他

在留資格が「留学」の外国人留学生には、下記の制度や奨学金があります。

- ・外国人留学生のための授業料減免制度（対象者は、授業料の2割相当額の減免）
- ・文部科学省奨学金及び外部奨学財団（選考の上採用）

12 コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法

2019年度 法政大学大学院 コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの入学検定料支払方法

1 Webで事前申込み



<https://e-shiharai.net/>

本学HP
からも
アクセス
できます！



画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

★Webから以下のように情報の入力が必要です。

1. トップページ——お支払先（大学院）を選択してください。
2. 学 校 選 択——「法政大学大学院」を選択してください。
3. 学校案内&個人情報承諾——注意事項を確認のうえ、個人情報の取扱いについて同意してください。
4. カテゴリ選択——第1～第4選択を選び、「次へ」をクリック。
5. 基本情報入力——出願者の基本情報を入力してください。支払先を選択し、「次へ」をクリック。クレジットカードを選択した場合は、続けてカード番号等を入力してください。
6. お支払い内容確認——全入力内容が表示されますので、よろしければ「申込みを確定する」をクリック。
7. 確 定——「確定」画面に通知された[番号]と[お支払期間]を確認し、選択したコンビニでお支払いください。クレジットカードを選択した場合は、申込確定と同時に支払いも完了です。

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。→

2 お支払い

オンライン決済	ネット受付店頭支払い
<p>VISA Mastercard JCB American Express</p> <p>※お支払いされるカードの義名人は、受験生本人でなくても構いません。但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。</p> <p>Web申込みの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択</p> <p>カード情報を入力</p> <p>全入力内容が表示されますので、正しければ「確定」を押す</p>	<p>7-Eleven</p> <p>【払込票番号（13ケタ）】</p> <p>●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。</p> <p>マルチコピー機は使用しません</p>
<p>お支払い完了です。下記の手順に従って、「収納証明書」を印刷してください。</p>	<p>お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」（チケット）を受け取ってください。</p>

セブンイレブン	Lawson	FamilyMart
<p>【オンライン決済番号（11ケタ）】</p> <p>Kstation</p> <p>各種支払い 11ケタの番号をお持ちの方 チケット受け取りはこちら オンライン決済番号を入力してお支払い 【オンライン決済番号】を入力</p>	<p>【お客様番号（11ケタ）】 【確認番号（4ケタ）】</p> <p>Loppi</p> <p>各種サービスメニュー 各種代金・インターネット受付（紫のボタン） 各種代金お支払い マルチペイメントサービス 【お客様番号】 【確認番号】を入力</p>	<p>【お客様番号（11ケタ）】 【確認番号（4ケタ）】</p> <p>Famiポート</p> <p>代金支払い 各種代金お支払い 番号入力画面に進む 【お客様番号】 【確認番号】を入力</p>
<p>店頭端末機より出力される「申込券」（受付票）を持って、30分以内にレジでお支払いください。</p> <p>お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」（チケット）を受け取ってください。</p>	<p>お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。</p>	<p>お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。</p>

3 出 願

オンライン決済の場合	ネット受付店頭支払いの場合
<p>支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。 「収納証明書」部分を切り取り、所定欄に貼り出願。</p> <p><注意> 携帯電話・スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。</p>	<p>「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、所定欄に貼り出願。</p> <p>※「収納証明書」を掲付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱感紙などを変色させる場合があります」と記載されている際はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。</p>

事務手数料	●検定料の他に事務手数料が別途かかります。
オンライン決済の場合	886円(消費税込)
ネット受付店頭支払いの場合	432円(消費税込)

※事務手数料は変更になる場合があります。

- 出願期間に入試要項等で確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限ります。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

13 お問い合わせ先

法政大学大学院政策創造研究科入学試験に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

法政大学大学院事務部大学院課 政策創造研究科担当

〒102-0073

東京都千代田区九段北 3-3-9

Tel : 03-3264-6630 Fax : 03-3264-3990

E-mail : rpd-j@hosei.ac.jp

受付時間（授業期間）

（平日）9:00～11:30、12:30～19:00

（土曜日）9:00～11:30、12:30～17:00

受付時間（授業期間外）

（平日）9:00～11:30、12:30～17:00

（土曜日）9:00～11:30、12:30～17:00

※日曜・祝祭日、夏季一斉休業期間および冬季一斉休業期間については窓口業務を行いません。

恐れ入りますが電話不通の際には E-mail もしくは Fax にてお問い合わせをお願いいたします。

■市ヶ谷キャンパス案内

